

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 26 年 6 月 3 日現在

機関番号：12606

研究種目：挑戦的萌芽研究

研究期間：2012～2013

課題番号：24652027

研究課題名(和文)ギリシャ・クラシック期の身体表現の美術解剖学的考察

研究課題名(英文)Anatomical Study of the Greek Classical Body

研究代表者

中村 るい(Nakamura, Rui)

東京藝術大学・美術学部・講師

研究者番号：50535276

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 2,100,000円、(間接経費) 630,000円

研究成果の概要(和文)：西洋美術の原点にある古代ギリシャの身体表現を、美術解剖学の立場から考察した。考察にあたり、ギリシャ・クラシック期のパルテノン・フリーズ彫刻の12神の立体模型を、東京藝術大学の大学院生とともに作成し、構造と形態の分析を行った。完成した立体模型を、平成24年11月から平成25年5月まで、約半年間、大英博物館の教育的展示「パルテノン・ナウ」にて展示した。また、平成25年7月に、ベルリン自由大学の学会にて、平成26年1月にシカゴの全米考古学会にて研究発表を行い、これらの研究成果の公表及び研究に対する議論によって、今後の古代ギリシャの身体表現の研究の基盤作りを行うことができた。

研究成果の概要(英文)：The Greek body representation as the origin of the Western body image was studied by the method of Artistic Anatomy. At Tokyo University of the Arts, the student sculptors worked on the project of recreating the twelve gods on the Parthenon Frieze in three dimensions, and together we analyzed the structure and form of the classical body. This three dimensional models were displayed at the "Parthenon Now" exhibit at the British Museum from November 2012 to May 2013. Also we presented the study at the conferences at Berlin (July 2013) and Chicago (January 2014), and we accomplished to found a solid base for the further study of Greek Classical body.

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：芸術学・芸術史・芸術一般

キーワード：ギリシャ 美的基準 身体表現 彫刻 立体復元

1. 研究開始当初の背景

古代ギリシャの彫刻研究は、これまで様式的な展開を精緻に分析することで大きな成果を挙げてきた。とくにパルテノン彫刻の様式研究は、19世紀以来の膨大な蓄積が存在する。一方、膨大な研究の蓄積ゆえに、新たな視点を組み入れた研究を阻んでいるようにも思われる。たとえば、制作者の視点に立った身体表現という観点は見過ごされている。彫刻家(職人)は、当時明らかとなりつつあった人体の知識(血管や筋肉など)の描写に加え、生命感の表出に取り組んだ。前490年頃、突然、血管の表現が彫像に登場することはそれを示唆する。本研究は、このような研究状況を踏まえて、美術解剖学的視点を組み入れた、身体イメージの詳細な形態研究を提案する。

2. 研究の目的

(1) 西洋の美術では身体が中心主題として、古代から現代にいたるまで、多様な身体イメージが生み出されてきた。この西洋の身体表現の原点にギリシャ美術がある。本研究は、美術解剖学の身体形態と構造を分析する手法を用いて、ギリシャ・クラシック期の身体イメージを考察する試みである。考察にあたり、立体模型および解剖学的分析図を独自に作成して、これまで見過ごされてきた身体の構造と表現を解明する。

(2) 2009年以来、制作継続中の立体模型を、2012年11月に大英博物館のパルテノン・ギャラリーで展示することを依頼された。この展示に向けて、立体模型を完成し、実技制作と美術史学の共同研究を行うことにより、これまで乖離していた実技制作とギリシャ美術史学と美術解剖学の共同研究の場を作る。

3. 研究の方法

(1) 2009~2010年作成のパルテノン・フリーズ彫刻の神々の立体模型に細部表現を加え、第2バージョンの模型を作成した。2009~2010年に工業用粘土で作成した第1バージョンの模型は耐久性に欠けるため、シリコンで型取りし、ポリウレタン樹脂で成形した。これに細部表現を加えて、第2バージョンとした。

(2) 2012年に、大英博物館で立体模型の展示を行った。大英博物館にて、展示作業をおこない、同時に同博物館のパルテノン・ギャラリーにて、フリーズ彫刻、メトープ彫刻、破風彫刻の身体表現を検討・分析した。

(3) 2013年に、最新の立体模型を東京芸術大学のギャラリー及び、文星芸術大学(宇都宮)の美術ギャラリーで展示を行った。とくに文星芸術大学では、模型制作にかかわった学生や現代作家の作品と模型を並置し、さらに石膏ギャラリーの石膏像も同時に展示することで、日本の美術教育における石膏デッサンの意味や、作品からの引用の歴史な

どを再検討した。

4. 研究成果

(1) パルテノン・フリーズの12神の立体模型第2バージョンを完成し、2012年11月~2013年5月までの半年間、大英博物館の教育的展示<パルテノン・ナウ>にて、展示をおこなった。展示を通して、ギリシャ彫刻研究に、美術解剖学的視点をを用いた新たな分析方法を提案した。当模型は、2013年6月、大英博物館の美術資料として収蔵されることが正式に決まった。

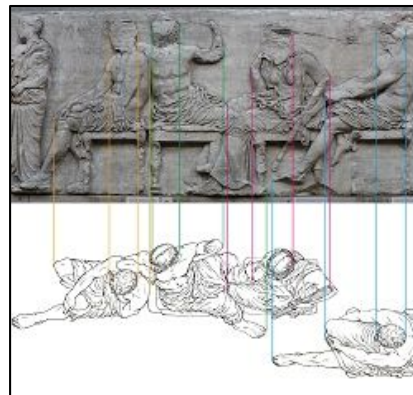


大英博物館の
展示(2012年
11月)



立体模型の細部(ゼウスとヘラの2神)

(2) パルテノン・フリーズの12神の立体模型の制作と共に、神々の身体構造と空間を把握するため、12神の想定俯瞰図を作成した。今後、パルテノン・フリーズ全体の想定俯瞰図の制作を視野に入れ、その第1段階と



して 12 神部分の図を作成した。パルテノン研究における、新たな図解資料となると考えている（図はヘルメス～アレスの部分）（作図 加藤公太）。

（3）立体模型の制作によって（A 図）1999 年にナイルズが J = ナイルズが発表したコンピューター・グラフィックスによる復元案（B 図）を、より進化させた、精度の高い空間の再構築が可能となった。



（A 図）パルテノン・フリーズの 12 神の立体復元模型（東京芸術大学 2012 年）



（B 図）パルテノン・フリーズの 12 神の空間配置案（J = ナイルズ 1999 年）

5. 主な発表論文等

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計 6 件）

中村るい「パルテノン・フリーズの神々身体・空間・神性の顕現」『東京芸術大学美術学部紀要』, 査読有 51 号, 2013 年, 75-89 頁。

中村るい『Parthenon Frieze: Recreation in 3-D of the Olympian Gods パルテノン・フリーズ：オリュンポスの神々の立体復元』（ブックレット）2013 年。

中村るい「大英博物館 パルテノン・ナウ 神々の立体復元模型の制作と展示」『Minervium 2013 授業報告集』9, 2013 年, 45-58 頁。

中村るい「パルテノン神殿のフリーズ彫刻について」『世界史の研究』232, 2012 年, 24-31 頁。

中村るい「パルテノン以前の身体表現」『五

浦論叢』19, 査読有、2012 年, 25-44 頁。

中村るい「パルテノン東フリーズの 12 神 立体復元模型の制作」『Minervium 2012

授業報告集』9, 2012 年, 64-73 頁。

〔学会発表〕（計 3 件）

Rui Nakamura 「The reception of Parthenon Sculpture in modern Japanese art studies: Recreation in 3-D of the Olympian gods of the Parthenon frieze」(発表題目)、『The Reception of Greek and Roman Culture in East Asia: Texts & Artifacts, Institutions & Practices』(学会総合テーマ) 於ベルリン大学、2013 年 7 月 5 日。

Rui Nakamura 「Recreating the Gods of the Parthenon Frieze in Three Dimensions」The 115th Annual Meeting of the Archaeological Institute of America [第 115 回 全米考古学会大会（シカゴ、Hyatt Regency Hotel）2014 年 1 月 3 日。

中村るい・長田年弘「神々の臨席 - パルテノン・フリーズにおける見えない神 - 」第 67 回日本美術史学会全国大会、於早稲田大学、2014 年 5 月 17 日。

〔図書〕（計 1 件）

中村るい ほか『古代地中海世界の歴史』ちくま学芸文庫 2012 年（担当箇所 pp.85-96, 144-162, 221-235）。総ページ数 271 ページ。

〔産業財産権〕
出願状況（計 件）

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

取得状況（計 件）

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：

国内外の別：

〔その他〕
ホームページ等

6．研究組織

(1)研究代表者

中村 るい (NAKAMURA, Rui)
東京芸術大学・美術学部・講師
研究者番号：50535276

研究者番号：

(2)研究分担者

()

研究者番号：

(3)連携研究者

()

研究者番号：